

# 「生見尾踏切」安全対策ニュース

～ 踏切の安全対策のため「こ線人道橋」を整備します ～

発行：横浜市道路局

横浜市では、生見尾踏切の安全対策に関する情報提供を行うため、安全対策ニュースを発行しています。

## 安全対策ニュース【VOL.5】の発行趣旨

生見尾踏切については、平成 25 年に起きた事故後、新たな跨線（こせん）人道橋を整備する検討を行い、26 年度には、横浜市が「踏切の直上に新たな跨線人道橋を整備する案」を提示しました。

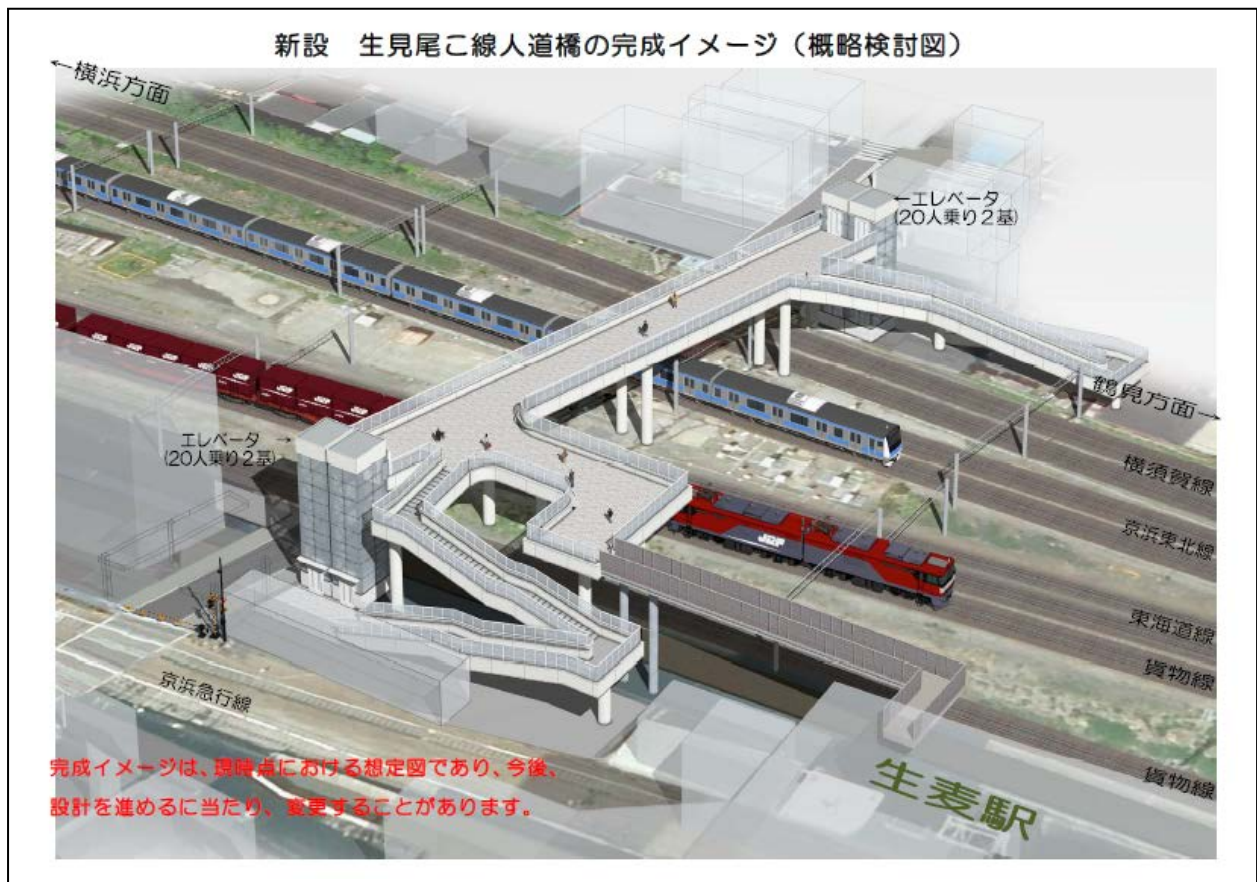
これまで、跨線人道橋整備に向け、地域の代表※の方々とは意見交換を行ってまいりましたが、このたび、設置位置を「踏切の直上」から「踏切の横（鶴見側）」に変更し、現在の踏切については、工事期間中も利用しながら整備を進めることとしました。

今回の安全対策ニュース【VOL.5】では、新たな跨線人道橋の整備計画の内容について、お知らせします。

なお、跨線人道橋整備後の踏切の取り扱いについては、横浜市としては、高齢化が進む中で、安全に横断できる施設を整備したうえで、閉鎖すべきと考えています。

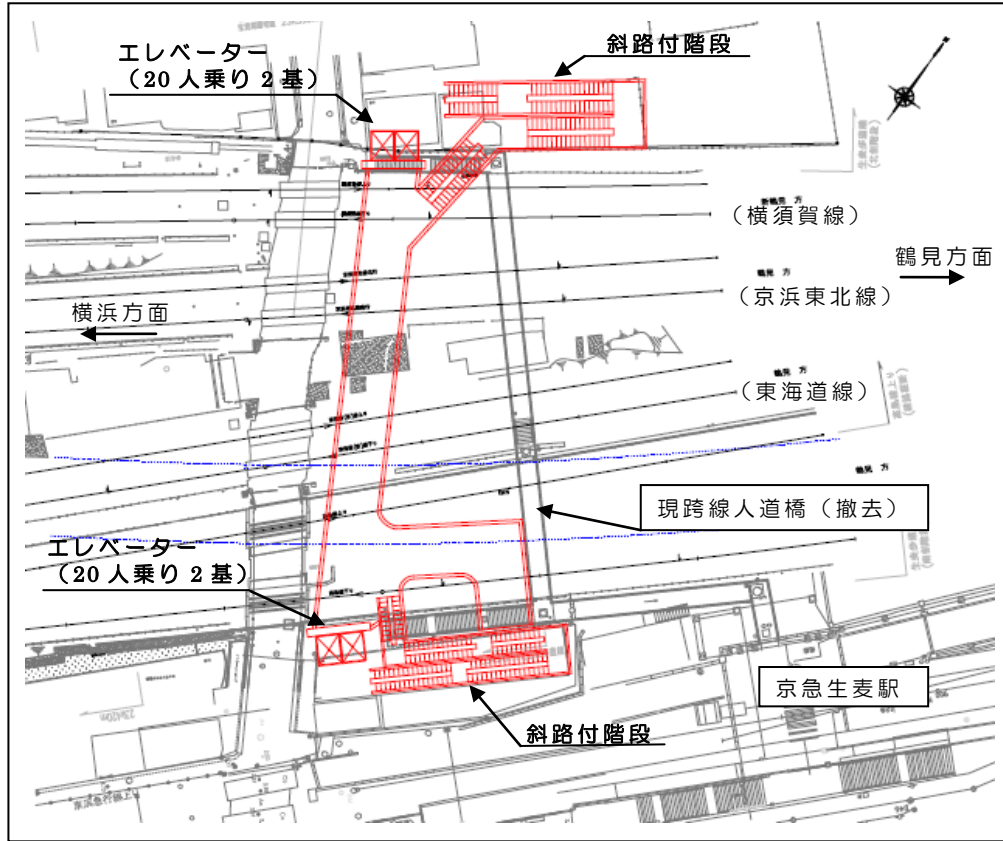
一方、地域の方々からは、踏切閉鎖は地域の分断や衰退を招くとの意見が寄せられています。

引き続き、市の考え方を丁寧に説明させていただくとともに、安全性の確保や地域の活性化のあり方などについて、地域の方々との対話を行っていきます。



※地域の代表：生麦第二地区連合会、岸谷商栄会協同組合、生麦駅前通り商友会、岸谷公園通り緑会

## 新たな跨線人道橋の概要



幅員	横断部	6.0m	
	階段部 (斜路付)	岸谷側	約 3.0m
生麦側		約 2.5m	

橋長	約 60m
エレベーター	20人乗り 岸谷側、生麦側 各2基

## 跨線人道橋整備の進め方

- 1 計画変更後の跨線人道橋の変更設計を進め、その後、鉄道敷地内の工事に支障となるケーブル等の移設を行います。  
新しい跨線人道橋は、平成32年度完成を目標に整備を進めます。
- 2 現在の跨線人道橋については、新しい跨線人道橋の完成後に撤去します。それまでの間は、そのまま利用する予定です。
- 3 踏切については、工事期間中も利用できますが、通行規制を行うことがあります。
- 4 跨線人道橋の工事の進め方については、施工計画がまとまり次第、地域の方々にご説明します。

掲載している図面等は、概略設計図であり、今後、詳細設計を進めるに当たり、変更することがあります。

御意見、御要望のある方は、下記連絡先にお問い合わせ願います。

横浜市道路局 事業推進課 鉄道交差調整担当 〒231-0017 横浜市中区港町 1-1

(平成29年4月1日付で、課名が「企画課」から「事業推進課」に変わりました。)

TEL: 045-671-2792 FAX: 045-651-6527 メール: do-tetsudou-umio@city.yokohama.lg.jp

お問い合わせ時間 9:00~17:00 (土、日、祝日以外)

なお、この資料は「横浜市道路局企画課鉄道交差調整担当」のホームページでも閲覧できます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/doro/plan/rail-cross/20110530-pln-fumikiri5-index.html>